

2019年（第30回）福岡アジア文化賞

FUKUOKA PRIZE 2019



公式行事のお知らせ

7月1日から8月23日まで参加申込を受け付けています！

福岡アジア文化賞では、9月に下記のとおり公式行事を執り行います。

いずれも**事前申込**により**無料**で参加することができます。

今年は**30回目**という節目を記念した行事なども予定していますので、

ぜひ市民のみなさまへ周知をお願いいたします！

日 時	行 事	場 所
9月10日 (火)	15:00～ 16:30 (予定) 第30回記念 歴代受賞者による シンポジウム	福岡国際会議場 2F 多目的ホール
	18:30～ 20:00 第30回授賞式	福岡国際会議場 3F メインホール
9月12日 (木)	市民フォーラム 第30回受賞者（芸術・文化賞） 佐藤 信（サトウ マコト）氏	アクロス福岡 B2F イベントホール
9月13日 (金)	15:00～ 17:00 市民フォーラム 第30回受賞者（学術研究賞） レオナルド・ブリュッセイ氏	福岡市科学館 6F サイエンスホール
	18:30～ 20:30 市民フォーラム 第30回受賞者（大賞） ランドルフ・ダビッド氏	

※ 各行事の内容詳細は次頁をご覧ください。

※ 申込方法（いずれも7月1日から8月23日までの間に受け付けます）

- ・専用はがき（各区役所、情報プラザ等で配布するチラシ）
- ・インターネット（<http://fukuoka-prize.org/contact/apply/>）
- ・電話（フリーダイヤル：0800-888-9530）

【問い合わせ先】 総務企画局 国際部 アジア連携課（福岡アジア文化賞委員会事務局）

担当：中野、山田 Tel：092-711-4930 Fax：092-735-4130

福岡アジア文化賞 URL <http://fukuoka-prize.org/>

ASIAN PARTYとは…9月から10月にかけて集中的に開催されるアジアとクリエイティブ関連事業の総称です。

「アジアと創る」をコンセプトに、アジアのヒト、モノ、情報が集う社交場をイメージし、「アジアを知る」アジアマンスからリニューアルして7回目を迎えます。「福岡アジア文化賞」「アジアフォーカス・福岡国際映画祭」「The Creators」の3大主要事業を柱に、民間企業・団体等と連携し様々なイベントを開催します。



2019年（第30回） 福岡アジア文化賞公式行事

第30回記念 歴代受賞者によるシンポジウム

■ 9.10（火）15:00～16:30【予定】 福岡国際会議場 2F 多目的ホール

「発展するアジアと文化の共存～福岡アジア文化賞、そして歴代受賞者がこれまでの30年間で守り、育て、新たに生み出してきたもの」をテーマにシンポジウムを開催します。

第30回授賞式

■ 9.10（火）18:30～20:00 福岡国際会議場 3F メインホール

アジア文化への貢献をたたえる「福岡アジア文化賞」。受賞者が一堂に会する授賞式は、受賞者の生の言葉や、アジアの多彩な文化に触れることができる、またとない貴重なチャンスです！

（第29回授賞式の様子）



【芸術・文化賞】佐藤 信（サトウ マコト）氏による市民フォーラム

■ 9.12（木）19:00～21:00 アクロス福岡 B2F イベントホール

テーマ：アジア、演劇、そして人びと：＜出会い＞を組織する

演出家・劇作家として、現代的感覚と伝統的美意識を融合させた優れた舞台を数多く制作してきた佐藤信氏。本フォーラムでは、前半で演劇批評家・高橋宏幸氏を交え佐藤氏の仕事を振り返り、後半で劇作家、日本劇作家協会会長で女優の渡辺えり氏を迎え、日本の現代演劇の未来やアジアとの国際交流について対談します。



佐藤 信氏 高橋 宏幸氏、渡辺えり氏（ゲスト）

【学術研究賞】レオナルド・ブリュッセイ氏による市民フォーラム

■ 9.13（金）15:00～17:00 福岡市科学館 6F サイエンスホール

テーマ：17世紀の東アジア海域と三人の冒険商人

グローバルな視野から近世東アジアの海域史を開拓してきたブリュッセイ氏。本フォーラムでは、17世紀初頭にこの海域で活躍した三人の冒険商人（角倉了以、ヤン・ピーテルスゾーン・クーン、鄭芝龍）の事績を通して、その時代の東アジア各地域の状況と相互の連関、そして彼らの活動が残した歴史的遺産について語ります。



ブリュッセイ氏

【大賞】ランドルフ・ダビッド氏による市民フォーラム

■ 9.13（金）18:30～20:30 福岡市科学館 6F サイエンスホール

テーマ：フィリピン社会 ～民衆主役の社会発展の模索～

フィリピン大学で第三世界研究所を創設し、新興独立国が抱える問題や対策などの研究を行ってきたランドルフ・ダビッド氏が、藤原帰一氏（東京大学未来ビジョン研究センター長・法学政治学研究科教授）とともに、ピープル・パワー革命1986年とその後の政権を中心としたフィリピン社会について語ります。



ダビッド氏 藤原 帰一氏（ゲスト）